

市内小学校・義務教育学校 こいのぼりプロジェクトについて

5月5日(金・祝)まで

端午の節句にこいのぼりを飾る風習を学校で体験し、日本古来から伝わる文化や伝統に興味を持つことをねらいとしています。各校工夫をした飾り方を実施しています。

【今年度初めて取り組んだみなみ学園義務教育学校】



校舎に飾られた様子



校内に飾られた様子

日本古くからの風習のひとつである「端午の節句」ですが、こいのぼりを掲げる家庭も少しずつ減少してきているように感じます。日本古来からの文化や伝統に触れ、これからも未来永劫伝えていく気持ちを養うため、各校で「こいのぼりプロジェクト」の活動を始めました。

また、学校運営協議会や地域の方々の協力をいただきながら、より一層地域の一員としての学校を目指します。

掲揚式では、多くの学校運営協議会委員の方々に参加していただきました。一匹ずつこいのぼりが飾られるたびに、グラウンドの子どもたちからは「うわあっ!」「大きいっ!」などと歓声が上がりました。その後、大きなこいのぼりの下でクラスごとに集合写真を撮りました。こいのぼりの様子を見るために、足を運んでくださる地域の方もいらっしゃいました。

○4月19日(水) こいのぼり掲揚式実施

○4月28日(金) ミニコいのぼりで顔合わせ(縦割り班活動)
※子どもたちが作ったミニこいのぼりは校舎内に展示しました。

地域とともにある学校を目指すみなみ学園義務教育学校の取り組みを、ぜひご覧ください!
(※こいのぼりの正式な数え方は「旒(リュウ)」だそうです、「匹、本、尾、本」でもいいそうです。)

この件に関するお問い合わせ
笠間市教育委員会 学務課 担当:高久(たかく)